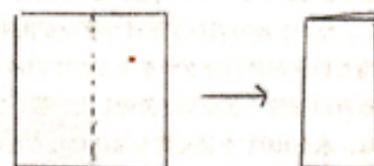




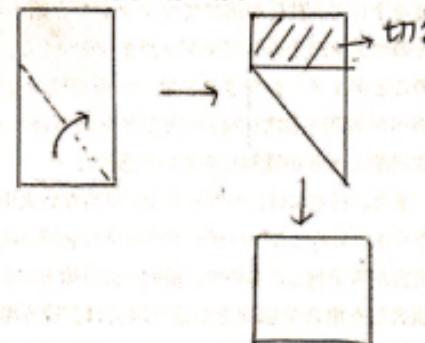
私は小学校の科学クラブのボランティアをしているのですが、学校で何より大事なことはお金がかからないこと。その点でも、このコマは新聞紙とペットボトルの蓋しか使わないわりに良く回り、コマの上に飾りなどでオリジナリティを出せ、工夫も出来るのでとても人気です。

〈作り方〉

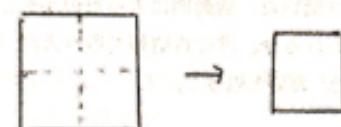
1. 新聞紙一枚を半分に折る



2. それを正方形の形に切る



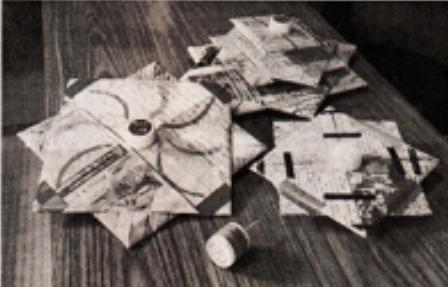
3. 正方形を四つ折りにする



とても綺麗に回ります。見本があると違いがわかつていいかもしれません。

また、使う紙は厚さと手軽さから新聞紙が便利ですが、コピー用紙でも大丈夫です。私は科学遊び以外の講座でその内容を印刷したコピー用紙でコマを作りお土産にしました。他にもいろいろな紙で試してみてください。

子どもが工作をする時、単純なもの、身近で安いものであることは、子どもの発想や工夫が生かされる大事なことではないでしょうか。

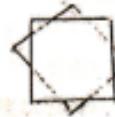


できあがった大小さまざまなコマ

4. それぞれの角から真ん中に向かって折る



5. 4を二枚重ねビニールテープで合体する（折り目のあるほうを上にしても下にしてもOK）



6. 5の上下の真ん中にペットボトルの蓋をセロテープでとめる



7. キラキラテープやビニールテープで飾り付けをする

完成!!

基本形は1辺約15cm弱のサイズです。

作り方1の新聞紙を半分に折らず、広げた状態から作った方がいて大きいコマが出来ました。また半分の大きさの小さいコマも作ってみました。小さいコマの方が速く軽やかに回り、大きいコマはその大きさ故に迫力はありますが、バランスがとりにくく安定せずにぎこちなく回り、その違いが、おもしろかったです。

学校のクラブでは、大きいコマにはペットボトルの蓋を3つついている子がいました。周りを少し上向きに曲げて作った子が「まわすと円になるんだよ」と言っていました。また新聞紙を二段・三段と重ねる子もいました。

子ども達は折り方が雑だったり、ペットボトルの蓋が真ん中でなかったり上下ずれていたり、いろいろですが…それなりに回ります。もちろん、きちんと折って中心に蓋をつけると安定して

そして昔からの子どもの遊びには常に科学があると思います。

ただ、最近では新聞紙も牛乳パックもないご家庭があるという現実も。子どもにとって、ものを作る、工夫するという機会は確実に減っているのかもしれません。

後半は初参加の藤高さんと、持ち寄りの地球こまや折り紙コマ・ストローでまわすこまやぶんぶんこまなどで盛り上がりました。



折り紙コマ、ペンハムのぶんぶんコマ、ダブルフィルムケースコマ、ストローで回すコマなど